

### 1 保護者アンケートから

- ・肯定的な意見について昨年度と比較で見ますと、「1自分から挨拶ができています (74%)」「2楽しそうに学校に通っている (87%)」「6本をよく読んでいる (43%)」「16安全な教育環境づくりに努めている (78%)」の項目において、3ポイント以上評価が上がっています。このことは、学校が目指してきた「笑顔ニコニコ」「感動ワクワク」と読書への取り組み、安全な学校をめざす取り組みが保護者の方にも見えてきたものと考えます。
- ・課題となったことは、「5宿題や自学に毎日進んで取り組んでいる」「7感染症予防の習慣が身に付いている」「8早寝・早起き・朝ごはんの生活リズムが身に付いている」「11スマホやタブレット、ゲーム機等の使用ルールを決め、正しい使い方をしている」「13漢字や計算などの基礎学力が身につくよう取り組んでいる」「18学校と家庭や地域等が連携して教育活動を進めている」などが昨年度と比較すると肯定的な評価が下がりました。このことから、学習の取組、生活リズム、タブレット等の利用法、そして地域連携について課題が挙げられます。

### 2 児童アンケートから

- ・昨年度との比較では、「2自分から挨拶をしている」「4授業の内容が分かっている」「11学校や学級のきまり・やくそくをまもっている」が低くなっています。
- ・「7宿題や自主学習を進んで行っている」「9自分のきれいなことや、苦手なことも逃げないでがんばっている」「13体育や外遊びを進んで行っている」が伸びており、学習や行動において自主的な取組が増えてきました。

### 3 学校経営について

- ・今年度の学校経営については特に11の重点を設定し取り組んできましたが、学校全体として、表現活動、生活習慣作り、通常学級における特別支援教育、外国語教育、ふるさと旭を意識した学習等で成果がありました。一方、音楽の日常化、ICT機器の活用、保幼小連携に課題が多く残りました。さらに検証を重ね、次年度の学校経営に生かしていきます。

### 4 今後の取組について

- ・昨年度より伸びが見られたものも数字的にはまだ伸びるところがありますので、さらに力を入れて取り組んでいきたいと考えます。
- ・課題となる「学習に関すること」は、自主的な取組の意識が高まりを見せていますので、その意欲を大切にしながら、効果を上げるためのICTの活用を含めた授業改善、指導法の改善を図っていきます。学習指導要領にある内容についてさらに理解を深め、「何ができるようになったか」をさらに具体化し、「生きる力」の

育成に努めるとともに、自己肯定感を高めるための方策を考えていきます。

- ・インターネットやタブレットの活用について、その利用法について習得させるとともに、情報モラルについて学ぶ機会を多く取り入れます。このことは、より豊かな教育環境を考える上でも力を入れたいところです。
- ・地域連携についてはコミュニティスクールを軌道に乗せ、地域と保護者の一体感を増す取組等について充実を図っていきたいと考えますので皆様にもご協力をお願いしたいと思います。